

自転車の利用率が高い東大阪市にある樟蔭高等学校の生徒たちが、  
自転車の安全のために活躍

## Safety Bicycle 推進校に指定されます！

◆指定書交付式・自転車交通安全講習：2025年7月16日（水）10:00～11:00

◆場所：学校法人樟蔭学園 100年會館

樟蔭高等学校（大阪府東大阪市）は、大阪府の Safety Bicycle 推進校に指定されます！

それに伴い、全校生徒の前で指定書交付式を執り行い、その後大阪府警察本部交通安全教育班による自転車交通安全講習会を実施していただきます。

Safety Bicycle 推進校とは、大阪府警察と大阪府教育庁が連携・共同したプロジェクトで、高校生自らが自転車の安全利用を「考え、学び、行動する」ことを目的としています。

自転車事故での死傷者数は、高校生世代が最も多く、生徒がヘルメットの重要性を認識し、自ら命を守るために、ヘルメットを主体的に着用すること、生徒の主体的な取組を通じて、交通安全意識を高め、交通ルール・マナーの改善することを目指しています。

### 本件のポイント

- 府内全高校等を対象とし、取組を希望する学校を推進校に指定（大阪府教育庁・大阪府警）
- 東大阪市の私立高校としては、樟蔭高校が初の推進校に指定
- ヘルメット着用をはじめ、自転車の安全利用に関して、生徒による主体的な取組の実施
- 地元警察署と連携した啓発活動や、校内でのポスター啓発など、今後生徒が主体となり実施を検討

数多くの学校が有る東大阪は、自転車の利用率が高いです。

通学だけでなく、普段から多くの生徒や大人たちが自転車を利用しています。登下校の際の安全確保の為だけでなく、地域の方の安全も一緒に守れるように安全活動に努めていきたいです。

自転車の安全利用を目的に、生徒達に「考え、学び、行動」できるよう指導を充実させていきたいです。運転者として安全義務を果たす責任が明確になってきています。高校生の意識としてその責任の重たさを学んでほしいと思います。



夏休み期間中における自転車利用の増加に伴い、終業式後に自転車安全講習を実施することで、生徒に交通安全意識を高めてもらい、事故なく安全な夏休みを過ごしてほしいと思います。また、地域とのつながりを意識しつつ、事故防止等によって地域に貢献できればと考えています。

つきましては、ご多忙のところ恐縮ですが、ぜひ取材のご検討をよろしくお願い申し上げます。

<本リリースに関するお問合せ先> 学校法人樟蔭学園 学園広報課（担当：服部）

TEL:06-6723-8152（直通）（平日9時～17時） FAX:06-6723-8263

E-mail: gakuen-pr@osaka-shoin.ac.jp

# 「Safety Bicycle 推進校」プロジェクト

大阪府警察 自転車対策室  
大阪府 教育庁

## 「Safety Bicycle 推進校」

生徒自ら、自転車の安全利用を「考え、学び、行動する」ことを目的としたプロジェクト

### めざすべき姿

- ◆ 生徒がヘルメットの重要性を認識し、自ら命を守るために、主体的に着用することをめざす。
- ◆ 生徒の主体的な取組を通じて、交通安全意識を高め、交通ルール・マナーの改善をめざします。

警察・教育関係者は、必要な提案・助言をし、生徒の主体的な取組みを後押しします。



## 警察・教育庁との連携

### 警察署と連携した取組み

- ✓ オリエンテーション等の機会に、警察官による交通安全教育を実施
- ✓ 春・秋の全国交通安全運動等の機会に生徒が警察署と共に啓発ビラを配布し、広報啓発活動を行う
- ✓ 警察署が作成した自転車用ヘルメット着用促進チラシに生徒がヘルメットをかぶり、モデルとして掲載



市主催の記念式典における警察署が実施する交通安全教育での生徒自身がヘルメット着用の感想

「先輩がかぶっているので、かぶるのが当たり前になっている」「かぶらないで乗る方が怖い」等と発表

### 教育庁と連携した取組み



「Safety Bicycle つながるサミット（仮称）」の開催（令和7年夏開催予定）

- ◆ 「交通心理学を専門とする大学准教授をサミットアドバイザーとして招聘し、Safety Bicycle推進校の生徒がこれまで取り組んだプロジェクトの実践例や成果等について発表する
- ◆ 参加生徒が自転車の安全利用について議論し、自身の交通ルールやマナーに対する意識を向上させる

- ✓ Safety Bicycle推進校の生徒同士によるオンライン討論会の実施
- ✓ 企業と連携した学校オリジナルヘルメットの制作

## 主体的な取組内容（例）

- 昼休みの放送で交通安全を呼びかけ
- 登下校時に校門前で交通安全の声かけ運動を実施
- 「YouTube」大阪府警察交通部公式チャンネルの動画を視聴し、感想文を書く・グループ検討会をする
- 探求等の時間を活用し、「どんなヘルメットならかぶりたいか」などグループごとにアイデアを出して、発表する
- 交通安全啓発ポスターを制作し、校内に掲示したり、自治会などに声かけをして、掲示してもらう
- 高校生が一貫校の中学生や小学生に対して、自転車マナーを教える
- 自転車免許制度を独自に制定し、学科試験や実技試験を実施
- ながらスマホ運転シミュレータを借りて、生徒が体験し、ながらスマホの危険性を体験

## 推進校になってよかった点（教員の意見）



- 近隣住民からの通学中の苦情が減ったように思う
- 通学中の交通事故が減ったように思う
- 教員自身もルールについて、考えるようになった
- 地元警察に気軽に相談できる関係性ができた

## 資料のご紹介

「YouTube」大阪府警察交通部公式チャンネル

1	高校生のための自転車安全利用啓発動画	5分53秒	16歳が全年齢の中で自転車での死傷が最多、実際の事故の映像など。
2	いのちを守りたい(フルバージョン)	56分25秒	交通事故で家族を亡くされた御遺族や自身が事故当事者となった方の講話。
	渡邊さんの講話	22分51秒	高校1年生の息さんがトラックにはねられて、亡くなった。ご遺族(父親)の講話。
	塩見さんの講話	18分4秒	小学6年生の息さんが車にはねられて、一時意識不明。息子さん本人と母親の講話。
3	秋田さんの講話	21分50秒	中学2年生の娘さんが車にはねられて死亡。ご遺族(母親)の講話。
	車の死角(左折時)	3分14秒	3Dキャンピングシステムを活用し、車の死角を紹介。

# 「Safety Bicycle 推進校」プロジェクト

大阪府警察 自転車対策室

大阪府 教育庁

## 「Safety Bicycle 推進校」の概要



「ヘルメット着用」「自転車安全利用」  
みんなで考え、努力してみませんか？



### めざすべき姿

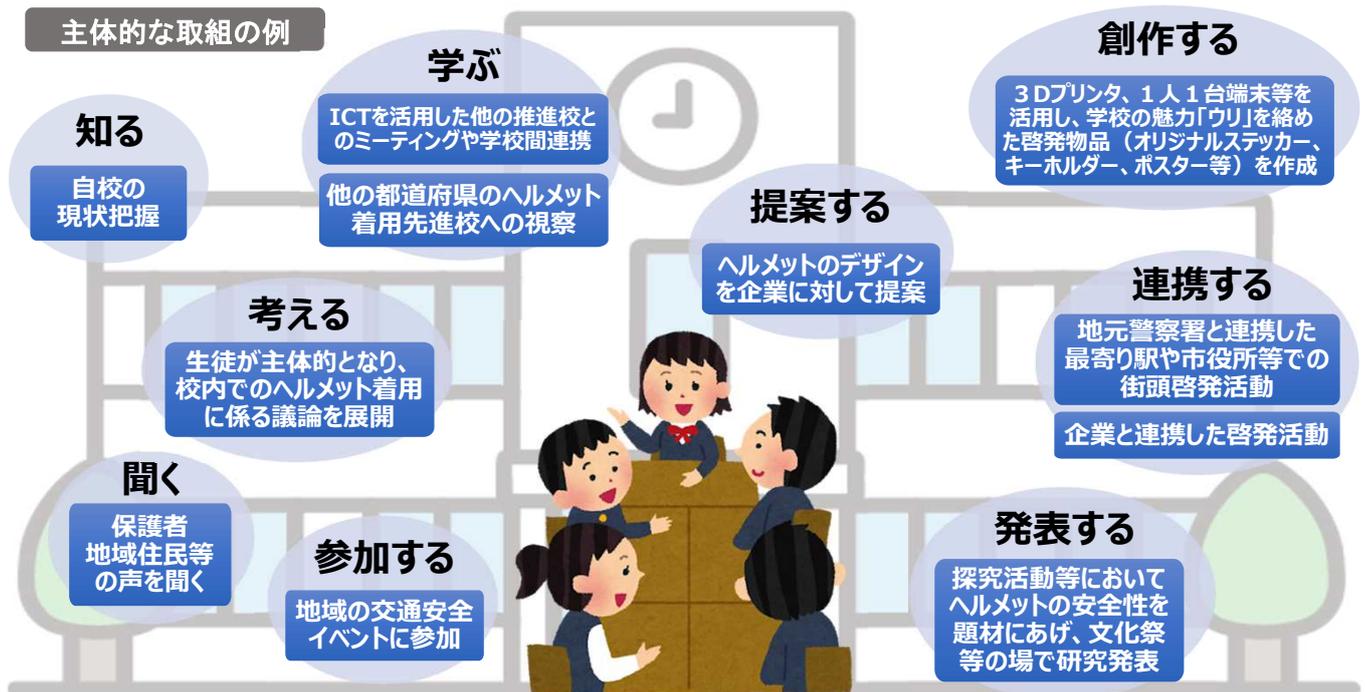
- ▶ 生徒がヘルメットの重要性を認識し、自ら命を守るために、主体的に着用することをめざす。
- ▶ 生徒の主体的な取組を通じて、交通安全意識を高め、交通ルール・マナーの改善をめざす。



生徒自ら、自転車の安全利用を「考え、学び、行動する」ことを目的としています。  
警察・教育関係者は、必要な提案・助言をし、生徒の主体的な取組を後押しします。

- 対象** 府内全高校等を対象とし、取組を希望する学校を推進校に指定（大阪府教育庁・大阪府警）
- 時期** 令和6年11月に第一回目、令和7年4月に第二回目の推進校を指定
- 期間** ヘルメット着用が浸透・伝統化する等、必要がなくなるまで継続可
- 内容** ヘルメット着用をはじめ、自転車の安全利用に関して、生徒による主体的な取組の実施

## 主体的な取組の例



## 警察（自転車対策室・警察署）の取組

- ▶ 交通安全情報・交通安全啓発資料の提供
- ▶ 交通安全教室、学校周辺での安全指導の実施
- ▶ 警察と協働した交通安全活動への助言・提案

## 大阪府教育庁の取組

- ▶ 生徒による主体的な取組への助言・提案
- ▶ 推進校間が連携した取組の企画・調整
- ▶ 推進校の取組を他校に情報共有